

上気道感染症とアレルギーの 難治化因子と新規治療分子同定



山田 武千代

教授 博士（医学）

Takechiyo Yamada

大学院医学系研究科 機能展開医学系 耳鼻咽喉科頭頸部外科

研究キーワード

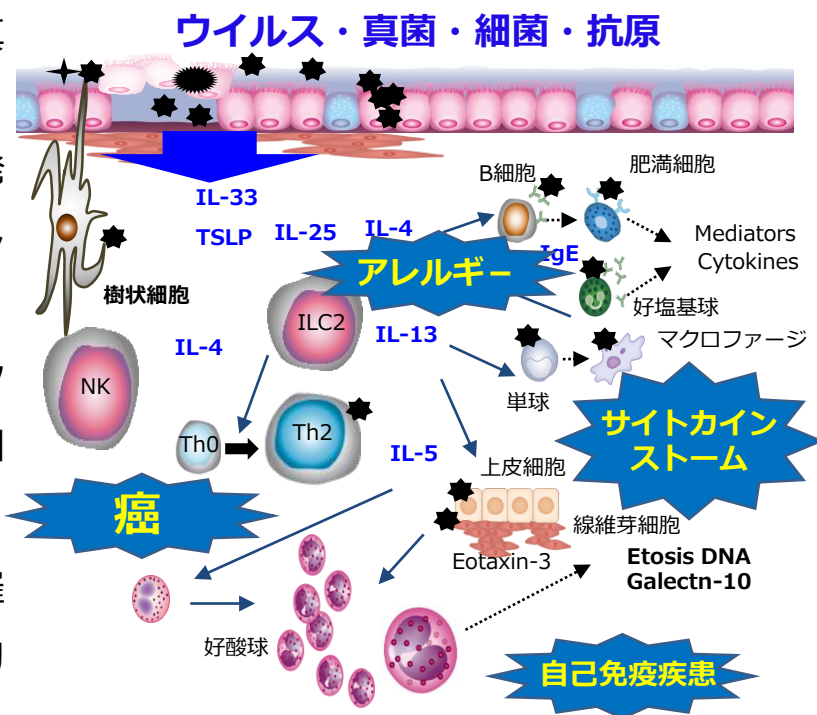
真菌、細菌、ウイルス、抗原、上気道、感染、アレルギー、花粉症、
マイクロバイオーム、自然リンパ球、エトーシス、癌腫瘍免疫

研究概要

★自然リンパ球の発見により、ウイルス・真菌・細菌・抗原など様々刺激は上気道炎症・アレルギー・難治性疾患・自己免疫疾患・発がんとの関連する可能性があることが判明している。

★マイクロバイオームやプロテオバイオミクスを含めたオミックス網羅的解析により原因となる分子候補が判明している。

★臨床症状・モデルマウス・細胞実験・網羅的解析から多面的にアプローチして真の標的分子を探る。



予想される応用例

難治化因子のバイオマーカー・新規標的分子が発見されれば創薬となる。

産業界へのアピールポイント

ウイルス・真菌・細菌・抗原など様々刺激は上気道炎症・アレルギー・難治性疾患・自己免疫疾患・発がんとの関連は不明な点も多い。